

美しい多摩川フォーラム・第2回運営委員会議事録

日 時：平成24年1月26日(木)15:00～16:30

会 場：立川グランドホテル(JR立川駅北口)3階サンマルコ

出席者：会長 細野 助博 中央大学大学院公共政策研究科教授
副会長 森田 昇 青梅信用金庫 理事長
委員 中田 有紀 東京都産業労働局 観光まちづくり担当課長
加藤 一美 奥多摩町 企画財政課長
伊藤 晋 羽村市 産業活性化推進室 商工業振興係 係長
永沢 正行 国分寺市 都市建設部 緑と水と公園課 主任
河原田 光 大田区 都市基盤整備部 蒲田まちなみ維持課長
小林 誠 東京急行電鉄株式会社 都市生活創造本部ビル事業部
二子玉川開発部統括部 専任主幹
小澤 順一郎 小澤酒造株式会社 取締役社長
根本 勝彦 森林総合研究所 多摩森林科学園 庶務課長
渡邊 勇 青梅子どもの水辺協議会会長
山崎 充哲 ガサガサ水辺の移動水族館 館長
堤 香苗 株式会社キャリア・ママ代表取締役
渡辺 徹 日本たばこ産業株式会社 立川支店 業務部長
栗原 秀二 (社)大多摩観光連盟 専務理事
宮坂 不二生 青梅信用金庫 特別アドバイザー
アドバイザー 井上 松男 青梅・多摩川水辺のフォーラム事務局長
オブザーバー 佐藤 實 日本航空本店 顧客販売部 第2グループマネジャー
横内 恒雄 株式会社JTB 法人東京 西東京支店 営業担当部長
(敬称略、以下同様)

配布資料：(資料 1)第3回美しい多摩川クリーンキャンペーン開催
(資料 2)「多摩川の歌」CD発送
(資料 3)「平成23年度東北圏における官民連携主体による広域連携プロジェクト
推進事業」に応募
(資料 4)「エコプロダクツ2011」においてフォーラムを紹介
(資料 5)第4回多摩川子ども環境シンポジウム開催
(資料 6)「食と地域の交流促進対策事業」第2回実行委員会開催
(資料 7)「多摩川の歌」DVD完成披露
(資料 8)第1号議案:平成24年度事業計画骨子・同予算について(案)
(資料 9)東北・夢の桜街道推進協議会の設立について(事後承認)
(参考資料)「東北・夢の桜街道」運動説明文、チラシ2種

1. 開会 (運営委員会成立の確認、資料確認) (事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成23年度第2回運営委員会を始めさせていただきます。本日の運営委員会は、出席委員、代理出席委員、書面議決書提出委員合せて45名で運営委員総数の過半数を超えておりますので、フォーラム規約第13条

3項の規程により、本委員会が成立しておりますことをご報告いたします。それから本日はじめて運営委員会にご出席される方をご紹介します。

(大田区 都市基盤整備部 蒲田まちなみ維持課長 河原田 光)

河原田と申します。大田区は、多摩川の河口に面しており、天気の良い日には、多摩川の河川敷は多くの人でにぎわいます。しかし、台風災害、ホームレスの対応、近隣へのホコリの影響など、問題も沢山ございます。最近では、自転車と歩行者の接触事故が大きな問題となっています。大田区では、多摩川を、安心・安全な、魅力のある憩いの場として取り組んでいきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

2. 細野会長挨拶

美しい多摩川フォーラム平成23年度・第2回の運営委員会でございます。去年は大変な災害がありましたが、ようやく少し落ち着いたかなという気がします。今日の議題にもありますように、私たちがなんとかしなければならぬということですが、今年こそ皆さんにとって良い年でありますよう、切に願いながら、本日の運営委員会を進めさせていただきたいと思っております。

それでは、11月の運営委員会以降の経過報告を事務局をお願いいたします。

3. 経過報告

(事務局)

それでは、その中から特に(1)番、(5)番、(8)番の活動につきましてビデオにまとめておりますので、入口のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

最後にご覧いただきましたのは、後ほど経過報告(8)でご報告する、「多摩川の歌」の完成披露です。経過報告を続けます。

(1) 第3回美しい多摩川クリーンキャンペーンの開催(11月)【資料1】

【資料1】をご覧ください。先ほどビデオ映像をご覧いただきましたが、こちらにつきまして、羽村市の伊藤様より一言お願いいたします。

(羽村市 伊藤様)

遅参しまして申し訳ございません。羽村市にて実施した、美しい多摩川クリーンキャンペーンについて、ご報告いたします。昨年11月13日(日)に、羽村市職員と市内の企業、株式会社ジェイテクト様の合同で、総勢34名で実施しました。集まったゴミは、可燃60キロ、不燃60キロとなり、成果を上げることができました。

(2)「多摩川の歌」CD発送【資料2】

【資料2】をご覧ください。昨年11月下旬に、多摩川流域の小・中学校840校にCDを発送いたしました。平成23年12月6日の読売新聞朝刊に、この件についての記事が掲載されました。現在数校から、楽譜を送ってほしいと依頼を受けております。

(3)「平成23年度東北圏における官民連携主体による広域連携プロジェクト推進事業」に応募(12/5)・採択(12/15)【資料3】

【資料3】をご覧ください。この案件は、昨年11月15日に国土交通省国土政策局より発表された、平成23年度・第三次補正予算に係る東北復興支援事業です。東北圏における官民連携主体による広域連携プロジェクトとして、1,000万円程度の事業を、23年度中に実施することが前提となっております。募集内容をみると、美しい多摩川フォーラムが推進している「東北・夢の桜街道プラン」にピッタリ当てはまり、また、応募締切が12月6日と時間がなかったこともあり、急遽、細野会長と相談し、「東北・夢の桜街道プラン」を推進する内容を織り込んだ「東北・夢の桜街道推進協議会」を新たに設立し、5日に応募資料を提出し、15日に採択されたものです。

詳細については、協議の第2号議案でお話したいと存じます。

(4)「エコプロダクツ2011」においてフォーラムを紹介(12/15～17)【資料4】

【資料4】をご覧ください。フォーラム会員のカシオ計算機(株)様では、昨年12月15日～17日に東京ビッグサイトで開催された、国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ2011」に出展され、美しい多摩川フォーラムの活動についてご紹介をいただきました。

(5)第4回多摩川子ども環境シンポジウムの開催(12/17)【資料5】

【資料5】をご覧ください。今年で第4回目となる「多摩川子ども環境シンポジウム」が、昨年12月17日(土)午後2時より、昭島市のフォレスト・イン昭和館において、総勢230名の発表関係者・来場者を集めて開催されました。「多摩川のここが好き！」というテーマで、多摩川流域の小中学生による発表が行われました。その中には、「多摩川の歌」の合唱も含まれており、大変内容の濃いシンポジウムとなりました。

なお、発表内容については、「みんなの発表誌」にまとめ、本年3月中に発表者や教育関係者ほか関係団体の皆さんへ配布する予定です。平成24年につきましても、12月8日(土)に同会場・同時間に開催する予定ですので、よろしく願いいたします。

(6)「食と地域の交流促進対策事業」第2回実行委員会開催(1/11)【資料6】

【資料6】をご覧ください。第2回目の実行委員会が1月11日に開催され、議事メモを添付いたしました。本件につきましても、小澤実行委員長様より一言お願いいたします。

(小澤実行委員長)

郷土弁当・スイーツに関しては、各部門とも、関係者の皆さんが一生懸命取り組んでいます。食べ物というのは、取り組む側にとっても楽しく、一生懸命になれるものなのだなと実感しております。いずれ試食という形で、皆さんのお口にも入ると思いますので、楽しみにしててください。

物語については、平野副会長が中心となり、メンバーの皆さんで地域ごとに分担して、話集めをしています。全て着々と進んでおりますことを、ご報告させていただきます。

(7) 第4回美しい多摩川フォトコンテスト審査結果

今月20日(金)に、フォーラムの事務局がある青梅信用金庫本部内におきまして、第4回目となる美しい多摩川フォトコンテストの作品審査会が開催されました。審査員には、昨年同様、日本写真家協会会員の佐藤秀明先生、風景写真家の瀬戸豊彦先生、多摩読売写真クラブ会長の榎戸勝洋先生の皆さんにお願いしました。

今回の作品応募点数は、「多摩川の風景・人々部門」が135点、「多摩川夢の桜街道部門」が85点で、合計220点の応募がありました。

審査結果でございますが、「多摩川の風景・人々部門」・「多摩川夢の桜街道部門」の各部門において、最優秀賞が1点、優秀賞が1点、入賞が3点選ばれました。また、佳作が「多摩川の風景・人々部門」より15点、「多摩川夢の桜街道部門」より5点が選ばれました。この審査結果は、2月1日に美しい多摩川フォーラムのホームページで公開される予定ですが、本日は役員の皆さんに一足早く上位の作品を持参し、サイドのテーブルの上に並べておりますので、後ほどどうぞご覧ください。

(8) 「多摩川の歌」DVDの完成披露【資料7】

【資料7】をご覧ください。「多摩川の歌」のDVD化についてですが、このほどようやく完成し、先ほど、披露させていただきました。当フォーラムの監事で、多摩ケーブルネットワーク社長である館様にご相談したところ、本件の撮影と編集を無償でご協力いただけることになりました。なお、青梅信用金庫の関連会社である新日本商事様より100万円をご寄付いただき、本件の経費に充てさせていただきました。

今後、フォーラム会員の皆様から希望アンケートをとり、「多摩川の歌」のCDまたはDVDを、会員全員に配布する予定です。

以上で、経過報告を終わります。細野会長、よろしく申し上げます。

(細野会長)

事務局からの経過報告で、何かご質問、ご意見などございますか。ないようですので、本日の協議事項に入ります。

4. 協 議

(細野会長)

それでは第1号議案の「平成24年度事業計画骨子・同予算について(案)」ですが、事務局の方からご説明をお願いします。

・第1号議案:第1号議案:平成24年度事業計画骨子・同予算について(案)【資料8】

(事務局)

【資料8】をご覧ください。平成24年度事業計画骨子・同予算(事務方素案)ですが、収入の部として、会費は190万円を見込んでおります。寄付金は、青梅信用金庫様より800万円、交付金は、農林水産省関東農政局より250万円、前期繰越金(見込額)は110万円となり、合計で1,350万円となります。一方、支出の部ですが、運営費として、総会35万円他、合計で325万円となります。活動費としまして、夢の桜街道・札所巡り事業65万円他、合計で1,002万円となります。この中には、食と地域の促進対策事業250万円、東北・夢の桜街道プラン170万円を含んでいます。次期繰越金(見込額)は、23万円で、支出の合計は1,350万円となります。

次のページをご覧ください。平成24年度事業計画のタタキ台(候補案)ということで、経済・環境・教育文化の軸ごとにまとめています。基本的には、23年度の継続事業ということになりますが、環境の⑦多摩川“水”大学講座については、新規事業になります。5月から10月にかけて、6回のシリーズものとなり、小倉副会長に環境講座を開いていただく予定ですが、費用はかからないとのことです。

次のページをご覧ください。平成23年度事業予算執行状況(12月末時点)ですが、当初予算、修正予算(昨年7月に開催された臨時運営委員会で承認されたもの)、12月末執行実績、24年度3月着地見通しに分けております。金額が大きく変動しているものについて、補足説明させていただきます。まず、収入の部ですが、12月末執行実績の欄に仮受金12,000円とあります。昨年3月に、震災の影響で開催中止となったボサノヴァ・コンサートについて、チケット代払い戻しの作業を進めておりましたが、4名分については現在も払い戻しにお見えになっていないため、東北復興支援として日本赤十字社に寄付をしたいと考えておりますので、3月末の時点でゼロになる予定です。支出の部ですが、ホームページの見直し、3月末着地見通しで600,000円となっております。これは、ソフトの開発費が予定より若干かかりそうだということで、100,000円ほど上ぶれする可能性があります。また、通信費等について、3月末着地見通しが700,000円となっておりますが、「多摩川の歌」CDおよびDVDの郵送費が追加されています。これまで、運営委員会や部会の開催通知文は、ヤマト運輸の宅配メール便を利用していたため、一通80円と、安く抑えることができていましたが、昨年8月末にヤマト運輸さんから一通の手紙が届き、「開催通知等の信書は、郵便扱いとなります」とありました。事務局としても、法令順守のため、費用増はやむを得ないと考えました。活動費についてで

すが、中学生対象総合教育文化事業として、予算200,000円から着地見直し40,000円に減っています。これは、ESD(持続可能な開発のための教育)を展望し、当初は中学校3校でやりたいと考え、200,000円を予算計上しておりましたが、最終的にはあきる野市立増戸中学校1校のみになったため、40,000円で済みました。続いて東北・夢の桜街道プランですが、修正予算1,700,000円に対し、2,100,000円と400,000円上ぶれしております。これは、昨年10月1日にこのプランを対外公表したところ、大変反響が大きかったため、チラシやポスターを大幅に増刷し、配布したことによるものです。

次のページをご覧ください。平成23年度活動実績&今後の予定を、ご参考までにお付けしました。事務局からの報告は以上です。細野会長よろしくお願いたします。

(細野会長)

この件につき、何かご質問やご意見はございませんか。

(山崎運営委員)

総予算に対し、1割弱をホームページ運営費に使っていますので、ホームページのアクセス数等、具体的なデータが欲しいです。会員や運営委員が、どれだけホームページを閲覧しているのでしょうか。対費用効果を考えてはどうでしょうか。

(細野会長)

前会長の時から、ホームページに関して言及がありましたが、事務局のほうで何かデータはありますか。

(事務局)

事務局では、毎朝アクセス数のカウントを記録しています。少ない時期ですと20弱、多い時ですと300を超えます。確かに、量的な問題で言えば、ゼロがひとつ少ないかもしれませんが、例えばこのホームページを見た東急百貨店様が、フォーラムのためにストラップを作り、その売上金の一部を寄付していただきましたように、質の充実も心がけています。今後、より多くの方々にホームページを見ていただけるよう、検討する必要があると思います。

(山崎運営委員)

カウンターは設置されているのですか？

(事務局)

トップページに設置されており、毎朝記録しています。

(細野会長)

今回はグラフ等があったほうが良いかもしれませんがね。他に何かございますか。

(栗原運営委員)

【資料6】食と地域の交流促進対策事業に関連し、PR的な要素でお話をさせていただきます。大多摩観光連盟は、西多摩の8市町村と山梨県の小菅村、丹波山村の計10市町村が加盟している連盟です。「観光と食」をテーマに、今年の5月下旬に、東京サマーランド駐車場において、B級グルメ大会を開催する予定です。食と地域の交流促進対策事業で開発されている弁当はB級ではないと思いますが、この会場で成果を発表できたら良いと思いますので、5月までに間に合うのであれば、ぜひ参加していただきたいと思います。

(細野会長)

ご提案、有り難うございます。小澤運営委員、これについてご意見をお願いいたします。

(小澤運営委員)

ご紹介という形での参加は可能ですが、参加条件として「1,000食を提供できること」となっていますので、その条件をクリアすることはできません。しかし、とても注目を浴びている事業ですので、窓口として有効に活用させていただきたいと思います。

(細野会長)

ほかにご意見、ご質問はございませんか。ないようでしたら、第1号議案について、ご承認いただけますでしょうか。(拍手)有り難うございます。では、第2号議案の「東北・夢の桜街道推進協議会の設立について(案)」を、事務局の方からご説明をお願いします。

・第2号議案:東北・夢の桜街道推進協議会の設立について(事後承認)【資料9】

(事務局)

【資料9】をご覧ください。先ほど、経過報告の中で、平成23年度東北圏における官民連携主体による広域連携プロジェクト推進事業に応募する際、東北・夢の桜街道推進協議会を新たに設立したことをご報告させていただきました。先ほども申し上げましたとおり、本件が運営委員会の協議に間に合わない緊急案件でしたので、事務局が細野会長にご相談し、会長のご指示のもとに対応させていただいた案件です。事後承認になりますが、よろしくご協議をお願い申し上げます。その前に、まず、設立趣旨について、ご説明させていただきますと、人口減少時代の到来により地域経済が疲弊するリスクが高まりつつある状況下、「美しい多摩川フォーラム」(会長・細野助博)では、「地域の活性化と自立」を図って いくためには、地域に暮らす人々が、多摩地域全体の将来の姿を見据えた地域づくりに取り組むことが何より大切であると認識し、多摩川をシンボルに、

美しい多摩づくりを目指す多摩川圏民運動を推進し、行政と民間の広域連携による持続可能な地域社会づくり運動を展開して参りました。

こうした矢先に発生した東日本大震災による東北地方の未曾有の事態に鑑み、美しい多摩川フォーラムでは、地域づくり団体として、これまで「交流人口の増加」による地域経済活性化策として推進してきた『多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り』運動のスキームが、観光振興による東北再生の一助になるとの思いから、「夢の桜街道」をキーワードに姉妹関係にあった「美しい山形・最上川フォーラム」(会長・柴田洋雄)に連携を呼び掛け、『東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り』を考案しました。そして、東北6県をはじめ、運輸・旅行会社、金融機関等からもご後援をいただき、平成23年10月1日、人々から最も共感が得られる東北の美しい「桜」を東北再生のシンボルに掲げ、地域を彩る桜を愛でながら札所を巡ることで、一日も早い東北復興や地域の活性化に繋がりたいと考える『東北・夢の桜街道プラン』を公表致しました。

ただし、こうした両フォーラムの観光振興による東北復興への取り組みを更に実効あるものとするためには、全国から観光客をお連れし、心のこもったおもてなしをする仕掛けを伴った「東北・夢の桜街道」運動を、全国的に幅広く展開していく必要があり、そのためには、「相互扶助の精神」で結ばれる、全国ベースでの行政と民間の広域的な連携・協働による地域づくり運動として、組織的に盛り上げていく必要があると考えました。

そこで、上記の基本的な考え方に賛同する各主体が結集し、東北復興のために、全国的なネットワークを活かした広域連携組織として、平成23年12月1日付で「東北・夢の桜街道推進協議会」を立ち上げることと致しました。この協議会は、東北の美しい「桜」をシンボルとする「東北・夢の桜街道」運動を通じ、東北の行政区域を様々に越える形で地域の人々が「絆」を深め、ひいては地域の共生・発展に繋がる ようにと考えております。また、こうした広域的な地域づくり運動の息の長い継続的な取り組みを通じ、地域に暮らす人々の自信や誇りが醸成するようにも努め、以って、東北の豊かな自然と文化の次代への継承・発展にも力を注いで参ります。

次ページは、協議会の体制です。ご参考までに、協議会の規約を添付しております。なお、具体的な事業活動につきましては、東京都の後援を受けまして、2月26日から27日の2日間に亘って、新宿西口広場イベントコーナーにおいて、東北の復興支援、ならびに東北への観光誘致を目的に、「東北・夢の桜街道運動」と「桜の札所・八十八ヵ所」をPRするためのパネル展を開催するとともに、そのオリジナル・モデルである「多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所」のPRを行う予定です。

また、「東北・夢の桜街道運動」のPRのため、ポスター、チラシ、小冊子を作成するほか、専門のホームページも立ち上げる予定です。

事務局からの説明は以上です。細野会長、よろしく願いいたします。

(細野会長)

本件につきまして、何かご意見、ご質問はございませんか。宮坂事務局長から何か補足説明はありませんか。

(宮坂事務局長)

補足説明ではありませんが、2月に新宿で開催されるイベントに関し、国交省の予算でパネル展を開催しますが、東京都からご後援をいただいた結果、展示費用が安く済み、大変感謝をしております。これについて、本日ご出席されている東京都の中田課長より一言ご意見をいただけますと有り難いです。

(東京都産業労働局観光部課長 中田様)

今年度より、フォーラム会員としてご協力をさせていただいております。私どもは、本来であれば、東京都内の観光振興事業を行っておりますが、今年度については、石原都知事の考えもあり、被災地への全面支援をしております。その一環として、観光部でも、「被災地応援ツアー」として、岩手・宮城・福島に行かれる都民の方々に、旅行代金の支援をさせていただいております。今回の「東北・夢の桜街道推進協議会」についても、東京都として設立趣旨に賛同し、新宿のパネル展にも後援をさせていただいております。通常、新規で後援となると、チェックも厳しくなるのですが、今までの多摩川フォーラムの実績や、東北への熱い想いを受け、異例の速さで決裁を通しました。

これは東京都からのPRになりますが、次年度においても、風評被害の大きい福島県に対する旅行支援の予算請求を行っております。3月に可決されれば、都民が24年度に福島県に旅行される際には、1泊3,000円、日帰り1,500円の支援をさせていただきます。

(細野会長)

有り難うございます。他に何かございますか。

(宮坂事務局長)

1点だけPRをさせてください。われわれ事務局は青梅信用金庫にありますが、信用金庫は全国で271金庫あります。そのうち半分弱の116金庫が、この運動に対して賛同し、PRポスターを後援金庫の全営業店に5月末まで掲示していただいております。北は北海道から、南は九州まで、幅広く分布しております。また、業界を取りまとめている全国信用金庫協会も賛同し、「東北・夢の桜街道推進協議会」の構成員になっていただきました。信用金庫は、「非営利・相互扶助」という基本理念のもと、こういった形で絆を強め、東北の復興を今後10年間応援し続けていきたいと思っています。

(細野会長)

とても有り難いことです。ほかに何かご意見等はございますか。

(多摩森林科学園 根本様)

本日は園長吉丸の代理で参りましたが、「東北・夢の桜街道」に関する、多摩森林科学園の活動をご紹介します。当園では、桜の保存および一般公開をしているところです。今年の3月～4月にかけて、3つのことを予定しています。①東北地方の桜の本体の挿木から取ったクローンがあるので、それを巡る地図を作製し、入園者に配布し、同時に「東北・夢の桜街道」と関連している事もPRしていきたいと考えています。②東北の桜の写真展を開催します。③園内で「東北・夢の桜街道」のパンフレット等を配布したいので、在庫がありましたら当園に送っていただきたいと思います。

(細野会長)

有り難うございます。ほかにございますか。

(山崎運営委員)

せっかくですので、去年の暮れに開催された「エコプロダクツ」に参加してはどうでしょうか。団体としてなら5,000円で参加できます。集客は8万人と、ビッグサイトとしては決して多くないのですが、興味ある人が沢山来るので、効果はあると思います。

(細野会長)

有り難うございました。ほかに何かございますか。ないようでしたら、事後ではありますが、ご承認いただけますでしょうか。(拍手)有り難うございました。以上で、全ての協議事項が終了しました。事務局より、次の意見交換の資料説明をお願いします。

5. 意見交換

・「食と地域の交流促進対策事業」の今後の対応について【資料6】

(事務局)

【資料6】をご覧ください。今年度につきましては、2月28日に立川グランドホテルにおいて、「食と文化の交流イベント」を開催し、今年度の事業が終了する予定ですが、関東農政局からの情報によれば、来年度の予算規模250万円が、諸般の事情により、220万円に減額され、計画の見直しが必要となる可能性があります。来年度につきましては、2か年の事業計画の最終年度にあたりますが、基本的には今年度の流れを受け、観光と連携した農山村の交流促進(グリーンツーリズム)を推進します。具体的には、奥多摩の「自然」「食」「文化」を活かした多摩川上・中・下流域間の観光交流を実現していきたいと考えております。今年度は、奥多摩郷土弁当の開発が順調に進んでおり、スイーツにつきましても、府中と青梅で

二者が別々に桜スイーツの開発を始めたところでは。文化についても、西多摩の昔話や文化資源の掘り起こし調査が進められております。来年度に向け、ご意見がございましたら、よろしくお願ひします。

(細野会長)

では、ご意見、ご質問がございましたらお願ひします。ないようですので、その他について事務局より説明をお願ひいたします。

・その他

①運営委員会の開催通知等の方法について

(事務局)

事務局からの提案です。これまで、運営委員会の開催通知等は、郵送でご連絡しておりましたが、先ほど「郵送費負担増」とご説明しましたし、かねてより会長や会員の皆さんから「ITをもっと活用したらどうか」というお話をいただきましたので、次回の運営委員会のご案内分より、Eメールでのご連絡とさせていただきたいのですが、よろしいでしょうか。(拍手)有り難うございます。なお、欠席された方についても、これまでは資料を郵送させていただいておりましたが、今後はEメールでご連絡をさせていただきます。

②東急電鉄さまより

(東京急行電鉄株式会社 小林様)

私どもの事務所があります二子玉川は、「ハナミズキの街」でもあります。アメリカから贈られたハナミズキを、国道246号沿いに初めて街路樹として植えた街として、毎年4月29日に、「ハナミズキフェスティバル」を多摩川河川敷で開催しています。ハナミズキと桜は、日米親善にとって重要な「花の交流」としての歴史があります。1912年(明治45年)、当時の東京市長であった尾崎行雄が、日米親善として、桜の苗木3,000本をワシントンに送り、現在でもポトマック河畔において毎年桜祭りが開催されています。今年は100年祭に当たり、大規模なイベントが予定されているそうです。その100年を記念し、アメリカからハナミズキの木3,000本を日本に送り、東北を中心に植えられるとアメリカで報道されました。二子玉川のフェスティバルも、今年で30周年を迎え、色々な計画が進んでいます。日米親善の花の交流に関し、何か我々フォーラムも結びつくことができるのではないかと考え、ここに情報提供をさせていただきました。今後も注目していただければと思います。

(細野会長)

有り難うございました。ほかに何かありますか。

(事務局)

本日はお忙しい中、オブザーバーとして、JTB様、日本航空様、急遽ですがクラブツーリズム様にご出席いただきましたので、「東北・夢の桜街道プラン」の進捗状況についてご説明をお願いいたします。初めに JTB の横内様からお願いいたします。

(JTB 横内様)

前回の部会でご報告させていただいている通り、青梅信用金庫さんの「あおしんサークルふれあいの旅」で、既に募集を開始しております。バス4台を目指しながら、集客し始めたところです。その他、国内募集型企画旅行として、既存の「エース・桜紀行」のラインナップのひとつとして、首都圏発の東北の桜の札所を巡る旅を載せる予定です。2月10日過ぎには冊子が店頭並び、販売される予定です。2月後半以降には、発売後の進捗状況をご説明できると思います。

(日本航空 佐藤様)

今、JTB さんから素晴らしい商品のご説明がありましたが、そういった商品の中で、我々運輸事業としてもご協力できればと思っています。これから全国的に展開していくこともあり、我々は、外国からのお客様の誘致(法人旅行)にも目を向けており、JRさんの子会社であるビュートラベルサービス、東北6県とタッグを組み、既に台湾で訪日旅行商品を販売しています。この中で、「東北・夢の桜街道」のプログラムを織り込んで告知できればと思っています。

(クラブツーリズム 小笠原様)

2月10日後、首都圏225万世帯に配布される「旅の友」に、「東北・夢の桜街道」のご案内と商品が掲載される予定です。私は東北出身なので、福島を含めて色々な形で支援していただけることに感謝しております。当社も1月1日、「新春の旅」で、50万世帯に1番札所・三春滝桜を大きく扱った商品を出しました。このツアーは毎年定番で、去年の今の時期は既に2千名集まっていたのですが、今年は残念ながら20名にとどまっています。震災前の平成22年には、3万6千人の方をお連れしましたが、震災後の去年はたったの80人でした。首都圏の方の、福島に対する抵抗がかなり強いと感じています。

先般、福島県の三春町長にお会いしてきました。町長も、放射能に関する風評被害を危惧されていました。現在、福島県の各自治体では、「おもてなし福島・桜回廊」という、「東北・夢の桜街道」と福島を繋げる様々な仕掛けを考えています。

我々も集客の少なさにショックを受けておりますが、それにめげず頑張りたいと思います。

(事務局)

有り難うございました。事務局からは以上です。

(細野会長)

私も東北に行った後、会津若松に参りました。町の人たちはシュンとしていました。風評被害のダメージはかなり大きいです。観光に携わるビジネスの方には頑張ってほしいと思いますし、我々も、色々なところで「大丈夫だ」という話をしなければならないと思います。

(クラブツーリズム 小笠原様)

補足ですが、美しい多摩川フォーラムからの紹介で、当社から平野啓子さんに特別にお願いし、六十三番札所・小岩井農場の一本桜で、5月11日、12日、13日の3日間、桜の語りをご披露いただくことになりました。有り難うございました。

(山崎教育文化副部会長)

多摩川でもこの話はかぶっています。子どもが多摩川に遊びに行く際、放射能は大丈夫なのかと、保護者の方から沢山問い合わせを受けています。先日、NHKスペシャルで、東京湾の放射能の状況を放映していましたが、幸い多摩川は全く問題なく、胸をなでおろしましたが、江戸川や荒川は、子どもたちが近寄れるような放射能の数値ではありません。多摩川の20～30倍となっていました。多摩川は急流河川なので、あっという間に羽田の先まで放射能が流されたようです。保護者の方は敏感なので、正しい数値を訴えていかないとはいけません。先ほどの、「2千人が20人に減ってしまった」という話は、他人ごとではないと思います。多摩川でも様々なイベントが計画されていますが、今年は正念場じゃないかと思っています。

6. 総括

(細野会長)

2月末にはアメリカでアカデミー賞の授賞式がありますが、外国映画賞にノミネートされたものの中に、東北震災後の桜をテーマにした作品があります。国際的には、日本の震災後の対処の仕方に対し、とても評価が高いです。草の根の活動で、絆を強化して一刻も早く復興させようとする動きはとても大事です。我々フォーラムが、その一助となるよう、皆さんで力を合わせてまいりたいと思いますので、引き続きご協力いただきたいと思います。それでは最後に、森田副会長から閉会の挨拶をお願いいたします。

7. 閉会

(森田副会長)

本日は、大変お忙しい中ご出席をいただき、また長時間に渡ってご協議をいただき、有り難うございました。今日も皆さんから貴重なご意見を沢山いただきましたので、事務局のほうで活かしていきたいと思います。そのベースとなる、「第1号議案:平成24年度事業計画骨子・同予算について(案)」につきましてご承認をいただきましたので、平成24年度の事業を

進めていけるということになりました。有り難うございます。平成24年度も、皆さんのお力をお借りして、フォーラムの活動を頑張ってもらいたいと思いますし、少しPRですが、事務局も頑張りますので、ぜひご協力をお願いいたします。本日はお忙しい中、有り難うございました。

以 上

(美しい多摩川フォーラム事務局)